

海洋生物シンポジウム 2026

2026年3月19日(木) 10時～17時 20日(金) 10時～16時30分

東京海洋大学白鷹館1階講義室 / オンライン開催 (Zoom 使用)

* 学生優秀発表賞審査対象者

○ オンライン講演

3月19日 (1日目)

シンポジウムの進行について	10:00～10:05
日本海洋学会会長挨拶 江淵 直人 (北大・低温研)	10:05～10:10
海洋生物学研究会の紹介 高木 悠花 (東大・大気海洋研)	10:10～10:20
1. 基調講演 1 : 深海熱水噴出域の生物地理学 : 幼生表層分散の発見 矢萩 拓也 (東大・大気海洋研)	10:20～10:50
座長 仲村 康秀 (島根大・EsReC)	
2. 本邦沿岸域における渦鞭毛藻 <i>Vulcanodinium</i> 属の分布ならびに発生状況 * 岸 寛大 (高知大・農海)	10:50～11:05
3. 2023–2025年の駿河湾における植物プランクトン群集構造 * 三浦 凜聖 (東海大院・海洋)	11:05～11:20
4. 海産浮遊性カラヌス目カイアシ類の雌性生殖腺の類型化と産卵戦略の関係の解明 * 橋本 陸人 (横浜国大院・環情)	11:20～11:35
5. カラヌス目カイアシ類 <i>Neocalanus plumchrus</i> における溶存態無機排泄と 脂質蓄積との関係 * 千田 唯乃 (東大院・農学生命)	11:35～11:50
6. 相模湾真鶴半島沖におけるニューストーン性メソ動物プランクトン群集組成の季節変動 * 栗原 康紀 (横浜国大・都市科)	11:50～12:05
昼休み	12:05～13:30

7. 基調講演 2 : クラゲ類と共生生物の種間関係
 近藤 祐介 (広工大・環境) 13:30~14:00
- 座長 宮本洋臣 (海洋大)
8. 黒潮大蛇行が相模湾西部における浮遊性カイアシ類 *Calanus sinicus*
 およびクダクラゲ目 *Muggiaea atlantica* に及ぼす影響 14:00~14:15
 * 西影 篤人 (横浜国大院・環情)
9. 分子系統解析を用いた浮遊性有孔虫 *Globorotalia unguolata*
Globorotalia tumida の再評価 14:15~14:30
 * 丸田 智毅 (東大・新領域)
10. 放散虫類ホシツドイ目の系統関係と生物発光
 * 洲寄 大 (島根大院・自然) 14:30~14:45
11. 深海熱水性フジツボ類ハツシマレパスの北西太平洋における遺伝的交流と生物地理
 * 長岡 毅朗 (北里大・海洋生命) 14:45~15:00
- 休憩 15:00~15:20
- 座長 堀井 幸子 (水産機構)
12. 中学校理科におけるプランクトン分野の授業実践 15:20~15:35
 ○佐藤 真輔 (福島県郡山市立郡山第一中学校)
13. 駿河湾における管クラゲ類の種多様性と優占種の季節変動 15:35~15:50
 * 金 廷錫 (東海大院・海洋)
14. インテグラルクラゲ *Orchistoma integrale* の「若返り」現象およびポリプの形態
 * 杉本 凌哉 (東大・教養理二) 15:50~16:05
15. 日向灘における前線構造と小型浮魚類の分布応答
 * 八木 敬弘 (東大・大気海洋研) 16:05~16:20
16. Modeling the population dynamics and lipid-driven dormancy of copepod
Neocalanus plumchrus in the Subarctic Pacific 16:20~16:35
 * 陳 昱安 (東大・大気海洋研)
17. マサバ回遊モデルを用いた日向灘来遊量の再現 16:35~16:50
 * 三露 蓮太郎 (東京海洋大学)
- 水産海洋学会の紹介
 伊藤 進一 (東大・大気海洋研) 16:50~17:00
- 懇親会 (大学会館 地図 26 番) 18:00~20:00

3月20日(2日目)

日本プランクトン学会の紹介

高橋 一生 (東大院・農学生命) 10:00~10:10

18. 基調講演 3: 堆積物コアに含まれるプランクトンを用いた過去の環境の推定

仲村 康秀 (島根大・EsReC) 10:10~10:40

一般講演

座長 土屋健司 (環境研)

19. カタクチイワシ眼球水晶体の窒素同位体標識と NanoSIMS による高解像度分析

樋口 富彦 (愛媛大・農) 10:40~10:55

20. 海洋生物地球化学過程を組み込んだ全球気候モデル (SINTEX-F2bio) による

熱帯太平洋でのクロロフィル a の季節予測

土井 威志 (JAMSTEC) 10:55~11:10

21. 亜寒帯 HNLC 海域における *Synechococcus* の硝酸利用能の喪失

佐藤 拓哉 (東大院・農学生命) 11:10~11:25

22. 窒素固定能性シアノバクテリア *Crocospaera watsonii* における

光合成に関連しないフィコエリスリンの役割

増田 貴子 (水産機構) 11:25 ~ 11:40

23. 北太平洋亜寒帯域の鉄供給の地理的変動と一次生産構造の関係

堀井 幸子 (水産機構) 11:40~11:55

24. 放散虫類・フェオダリア類(単細胞動物プランクトン)の生物発光:新知見と展望

仲村 康秀 (島根大・EsReC) 11:55~12:10

昼休み 12:10~13:30

25. 基調講演 4: 海洋生物学における粒子追跡実験の現在と未来

西川 悠 (JAMSTEC) 13:30~14:00

座長 増田 貴子 (水産機構)

26. 放射性炭素濃度に基づく深海化学合成生態系の炭素源解明

野牧 秀隆 (JAMSTEC) 14:00 ~ 14:15

27. カニ消化管内に見いだされた尾索類の北上の可能性

筒井 英人 (長崎大・水産) 14:15~14:30

28. 佐世保湾南部における潮汐流と海底堆積物の分布 堤 英輔 (鹿大・水産)	14:30～14:45
29. 海洋生態系におけるレジームシフトの強化 伊藤 進一 (東大・大気海洋研)	14:45～15:00
休憩	15:00～15:20
座長 佐藤 拓哉 (東大院・農学生命)	
30. 北海道水域の有害藻類ブルーム監視へ向けた植物プランクトン群集構造 のリモートセンシング ○平田 貴文 (北大・北極セ)	15:20～15:35
31. 有害珪藻 2 種の増殖に対する亜鉛 Zn 要求性の解明 ○内藤 佳奈子 (県広大・生物資源)	15:35～15:50
32. 播磨灘および大阪湾におけるイカナゴ稚魚の摂餌状況の経年変化 山田 雄一郎 (北里大・海洋生命)	15:50～16:05
33. 相模湾におけるカジメ <i>Ecklonia cava</i> の食害抑制条件下での生存率および成長量 松本 和真 (横浜国大・都市科)	16:05～16:20
閉会式・学生優秀発表賞表彰	16:20～16:30